

平成17年度 大雪・富良野ルート活動報告

0. 地域活動報告の概要
1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
3. 地域及び行政の運営に関する報告
4. 審査委員会意見に関する報告

0-地域活動報告の概要

・地域活動に関する報告(大雪・富良野ルート)

ルート名称:大雪・富良野ルート		報告年月:2006/3/31	
種類	方針	方策	総括
景観づくり	北海道らしい雄大な景観を美しく見せる		今後は、ビューポイントパークキング(とるぼと)との連携も視野に入れ、シニックデッキを継続、展開する。景観形成モデル地区を設定し、景観づくりの活動を集中的に実施することを検討する。今年度実施した活動に関しては、次年度以降の展開を検討する。
	大雪山・十勝岳連峰への眺望性を高めるために、阻害要因の除去や道路施設の整備を行う		T-1・T-2・T-3・T-4・T-5・T-6・T-7・T-8・T-9
	ビューポイントを整備して大雪山・十勝岳連峰の眺めを楽しめるようにする		T-4・T-6・T-7
	大雪山・十勝岳連峰への眺望性を確保するためのルールの整備を進める		T-1・T-4・T-7
	田園景観保全のための仕組みを観光と関連を持たせながら検討する		T-8
	田園景観を保全するためのルールなどの検討を行う		T-2・T-10・T-11
	田園景観を整えるためにさまざまな農業施設を景観にも配慮されるようにする		T-8
	地域の原風景としての景観を保全するための研究を行う		T-4・T-8
	沿道の関係地域全体で花による沿道景観の演出を行う		T-2・T-5・T-8・T-12
	花人街道として田園部、市街地を含めた景観形成の方針を検討する		T-13
地域づくり	沿道の景観阻害要因に対するの修景計画の策定を行う		T-4・T-5・T-7・T-8・T-14
	森林景観を保全するための活動計画の策定を行う		T-6・T-8
	ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る		T-8
	地域の情報発信力を強化し、情報媒体の多彩化を図る		T-15・T-10・T-16・T-17・T-18・T-19・T-20・T-21
	地域住民参加への活動を強化する		T-22・T-15・T-16・T-17・T-18・T-19
	シニックの活動に対する地域連携意識を醸成する		T-3・T-4・T-13・T-7・T-14・T-23・T-24・T-25・T-11
	各種キャンペーンの立案によって参加意識を高める		T-4・T-13・T-7・T-14・T-23・T-26
	安全な地域農産物の魅力を情報として発信する		T-14・T-23・T-24・T-9・T-26・T-15・T-27・T-10・T-16
	農業体験観光を通して地域の魅力を紹介する		T-2・T-23・T-24・T-25・T-28・T-29・T-30
	地域の様々な分野の業界と資源を活用し総合力を高める		T-2・T-1・T-29・T-30
観光振興	多面的に魅力のあるルートの開発と紹介を行う		T-2・T-7・T-14・T-26・T-30・T-12
	大雪山・十勝岳連峰の原生林や貴重な野生生物遺産の保全・保護と監視を進める		T-1・T-2・T-22・T-3・T-5・T-6・T-7・T-14・T-26・T-12・T-10・T-16
	自然の保全・保護に関する情報発信や啓蒙活動を行うとともに学術調査研究に協力する		T-15
	歴史的建造物等の地域の歴史文化遺産、北海道遺産などの利活用を図る		T-8・T-12
	地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進する		T-12・T-10
	シニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う		
	地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う		
	田園型リラクゼーション健康を充実させる		T-1・T-9・T-29・T-30・T-12
	もてなしのシニックバイウェイを充実させる		T-4・T-5・T-13・T-7・T-8・T-14・T-23・T-29・T-30
	地域の来訪者との連携交流を充実させる		T-14・T-23・T-28・T-30・T-12
観光振興	来訪者と農業生産者をつなぐくみを検討する		T-2・T-14・T-23・T-25・T-28・T-29・T-30・T-15・T-10・T-11
	地域の農産物の新たな流通ルートを検討する		T-2・T-23・T-28・T-29・T-30・T-27・T-21・T-11
	ルートのコミュニティビジネスを興すための検討を進める		T-1・T-2・T-22・T-6・T-23・T-24・T-25・T-26・T-28・T-29・T-30・T-12・T-11
	シニックバイウェイの情報網と発信機能を充実させる		T-15・T-16・T-17・T-18・T-19・T-20・T-21
	シニック情報中枢機能を充実させる		
	シニック情報中枢機能を充実させる		T-17・T-21
	地域活性化・歴史文化遺産、北海道遺産などの利活用を図る		
	シニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う		
	地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う		
	田園型リラクゼーション健康を充実させる		T-1・T-9・T-29・T-30・T-12
もてなしのシニックバイウェイを充実させる		T-4・T-5・T-13・T-7・T-8・T-14・T-23・T-29・T-30	
地域の来訪者との連携交流を充実させる		T-14・T-23・T-28・T-30・T-12	
来訪者と農業生産者をつなぐくみを検討する		T-2・T-14・T-23・T-25・T-28・T-29・T-30・T-15・T-10・T-11	
地域の農産物の新たな流通ルートを検討する		T-2・T-23・T-28・T-29・T-30・T-27・T-21・T-11	
ルートのコミュニティビジネスを興すための検討を進める		T-1・T-2・T-22・T-6・T-23・T-24・T-25・T-26・T-28・T-29・T-30・T-12・T-11	
シニックバイウェイの情報網と発信機能を充実させる		T-15・T-16・T-17・T-18・T-19・T-20・T-21	
シニック情報中枢機能を充実させる		T-17・T-21	

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
・地域活動に関する報告(大雪・富良野ルート)

ルート名称:大雪・富良野ルート		報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵			報告年月:2006/3/31			
種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	北海道らしい雄大な景観を美しく見せる	T-1	シーニックデッキの設置	深山峠観光開発振興会	冬期以外設置	利用者から好評を得ているが、今年度はいたずらでデッキが壊される事態も発生し、管理体制を検討する必要がある。	今後は、ビューポイントパークキング(とるば)との連携も視野に入れ、シーニックデッキを継続、展開する。景観形成モデル地区を設定し、景観づくりの活動を集中的に実施することを検討する。今年度実施した活動に関しては、次年度以降の展開を検討する。
			T-2	じゃがいも一坪オーナーの実施	深山峠観光開発振興会	通年受付(冬期以外)	平成17年度は1400人程度がオーナーとして登録したが、今後さらにPRを実施して、オーナーの人数を増やしたい。	
			T-3	第2回シーニックバイウエイ北海道「大雪・富良野ルート」みち・沿道景観フォトコンテストを実施	シーニックバイウエイ北海道「大雪・富良野ルート」みち・沿道景観フォトコンテスト実行委員会	平成17年8月1日～10月31日作品募集	今年度は全国各地から応募があり、昨年度よりレベルの高い作品が集まった。「残したくない風景」についても募集したが、一年目ということもあり作品は思うように集まらなかった。	
			T-4	ゴミゼロキャンペーンとして、沿道の清掃活動を実施	花分科会 NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年5月30日 上富良野 10:00～12:00 西神楽 9:00～11:00	多くの方が参加して広範囲の清掃が実施できた。地域、道路維持業者の清掃活動と連携する為には実施期間の設定を検討する必要がある。	
			T-5	植栽計画に関する検討会の開催及び意見書を旭川開発建設部に提出	景観分科会	植栽検討会 平成17年5月26日 18:00～20:00※意見見出し 出平成17年8月下旬	植栽計画についての検討会を実施。活動団体の意見を踏まえて、景観分科会から意見書を提出した。	
			T-6	支障物件(看板)撤去を千代ヶ岡で実施	景観分科会	平成17年5月25日 5:00～6:30	道路の交通量を考え早期の作業になったために、作業者への負担が大きかった。看板設置により収入を得ている地権者への理解が必要となる。	
			T-7	JRと国道の間の帰北植物撤去	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年9月24、25日 11:00～15:00	帰北植物を撤去した区間の景観は良好になり、来年度以降も継続して実施することになった。撤去作業は予想以上に重労働であり、今後は効率よく撤去できる方法を検討する。	
			T-8	景観ルールづくり	景観分科会	通年	景観分科会を中心に景観ルールを作成中。来年度はモデル地区を定めて、モデル地区で集中的に景観形成活動を実施する。	
			T-9	桜岡ヒルトップの丘で馬のショーや焼肉、ウェスタン音楽を楽しむイベント「馬と星空と音楽と」を開催	NPO法人ネイティブクラーク	平成17年9月3日 17:00～19:00	イベント参加者からは、桜岡の環境や馬のショーは好評であった。毎年、チケットの販売などに苦勞している。	

ルート名称:大雪・富良野ルート		報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵			報告年月:2006/3/31			
種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	大雪山・十勝岳連峰への眺望性を高めるために、阻害要因の除去や道路施設の整備を行う	T-4	ゴミゼロキャンペーンとして、沿道の清掃活動を実施	花分科会 NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年5月30日 上富良野 10:00～12:00 西神楽 9:00～11:00	多くの方が参加して広範囲の清掃が実施できた。地域、道路維持業者の清掃活動と連携する為には実施期間の設定を検討する必要がある。	今後は、ビューポイントバーキング(とるば)との連携も視野に入れ、シーニックデッキを継続、展開する。景観形成モデル地区を設定し、景観づくりの活動を集中的に実施することを検討する。今年度実施した活動に関しては、次年度以降の展開を検討する。
			T-6	支障物件(看板)撤去を千代ヶ岡で実施	景観分科会	平成17年5月25日 5:00～6:30	道路の交通量を考え早期の作業になったために、作業者への負担が大きかった。看板設置により収入を得ている地権者への理解が必要となる。	
			T-7	JRと国道の間の帰化植物撤去	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年9月24、25日 11:00～15:00	帰化植物を撤去した区間の景観は良好になり、来年度以降も継続して実施することになった。撤去作業は予想以上に重労働であり、今後は効率よく撤去できる方法を検討する。	
			T-1	シーニックデッキの設置	深山峠観光開発振興会	冬期以外設置	利用者から好評を得ているが、今年度ははいらずらでデッキが壊される事態も発生し、管理体制を検討する必要がある。	
			T-4	ゴミゼロキャンペーンとして、沿道の清掃活動を実施	花分科会 NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年5月30日 上富良野 10:00～12:00 西神楽 9:00～11:00	多くの方が参加して広範囲の清掃が実施できた。地域、道路維持業者の清掃活動と連携する為には実施期間の設定を検討する必要がある。	
			T-7	JRと国道の間の帰化植物撤去	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年9月24、25日 11:00～15:00	帰化植物を撤去した区間の景観は良好になり、来年度以降も継続して実施することになった。撤去作業は予想以上に重労働であり、今後は効率よく撤去できる方法を検討する。	
			T-8	景観ルールづくり	景観分科会	通年	景観分科会を中心に景観ルールを作成中。来年度はモデル地区を定めて、モデル地区で集中的に景観形成活動を実施する。	
			T-2	じゃがいも一坪オーナーの実施	深山峠観光開発振興会	通年受付(冬期以外)	平成17年度は1400人程度がオーナーとして登録したが、今後さらにPRを実施して、オーナーの人数を増やしたい。	
			T-10	農業と景観・観光をテーマとした新規団体フォーラムの開催及び会場の提供	共催(ルート運営代表者会議)	平成18年3月12日 13:00～17:00	今後の農業との連携に向けて、農業と景観・観光についてのフォーラムを開催。新規団体募集も実施。参加者を集めることに苦労した。	
			T-11	各種シンポジウムやフォーラムのパネルリスト及び講演者として、運営委員会メンバーが出演	ルート運営代表者会議	通年	札幌や赤谷、和歌山のシンポジウムや、十勝でのシーニック勉強会に運営委員会メンバーが呼ばれ出演及び講師を務めた。	

種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
景観づくり	波状丘陵地の田園景観を保全する	田園景観を保全するためのルールなどの検討を行う	T-8	景観ルールづくり	景観分科会	通年	景観分科会を中心に景観ルールを作成中。来年度はモデル地区を定めて、モデル地区で集中的に景観形成活動を実施する。	農業者が生活を営んでいける仕組みづくりを進めるために、じゃがいも一坪オーナー等で農業と活動団体の連携を推進し、次年度以降も具体的な活動を積み上げる。
		田園景観を整えるためによりさまざまな農業施設を景観にも配慮されるようにする	T-4	ゴミゼロキャンペーンとして、沿道の清掃活動を実施	花分科会 NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年5月30日 上富良野 10:00～12:00 西神楽 9:00～11:00	多くの方が参加して広範囲の清掃が実施できた。地域、道路維持業者の清掃活動と連携する為には実施期間の設定を検討する必要がある。	
			T-8	景観ルールづくり	景観分科会	通年	景観分科会を中心に景観ルールを作成中。来年度はモデル地区を定めて、モデル地区で集中的に景観形成活動を実施する。	
			T-2	じゃがいも一坪オーナーの実施	深山峠観光開発振興会	通年受付(冬期以外)	平成17年度は1400人程度がオーナーとして登録したが、今後さらにPRを実施して、オーナーの人数を増やしたい。	
			T-5	植栽計画に関する検討会の開催及び意見書を旭川開発建設部に提出	景観分科会	植栽検討会 平成17年5月26日 18:00～20:00※意見提出平成17年8月下旬	植栽計画についての検討会を実施、活動団体の意見を踏まえて、景観分科会から意見書を提出した。	
			T-8	景観ルールづくり	景観分科会	通年	景観分科会を中心に景観ルールを作成中。来年度はモデル地区を定めて、モデル地区で集中的に景観形成活動を実施する。	
			T-12	旧国道を巡るツアー「シーニックバス、旧国道に行く！」を開催	NPO法人グリーンステージ	平成17年10月8日 9:00～16:00	旧国道のツアーの開催は初めて行われ、今後はさらなる資源の発掘が必要である。	
			T-13	沿道の関係地域全体で花による沿道景観の演出を行う	深山峠観光開発振興会 上富良野町商工会商業部会 フラワーランドかみふらの 東川町花俱樂部 北のロマンズハイウェイ	平成17年6月中	各地区で花を植栽し、沿道に彩りを添えた。花の植栽地区が延長するにあたってさらなる花の苗の供給が必要となっている。沿道に植樹柵が無い場所に関しては、プランターを設置しているが、散水などの管理が大変である。	
			T-4	花人街道として田園部、市街地を含めた景観形成の方針を検討する	花分科会 NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年5月30日 上富良野 10:00～12:00 西神楽 9:00～11:00	多くの方が参加して広範囲の清掃が実施できた。地域、道路維持業者の清掃活動と連携する為には実施期間の設定を検討する必要がある。	

種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括			
景観づくり	花人街道と沿道の景観を整える	花人街道として田園部、市街地を含めた景観形成の方針を検討する	T-5	植栽計画に関する検討会の開催及び意見書を旭川開発建設部に提出	景観分科会	植栽検討会 平成17年5月26日 18:00～20:00※意見提出 平成17年8月下旬	植栽計画についての検討会を実施、活動団体の意見を踏まえて、景観分科会から意見書を提出した。	看板撤去や帰化植物の草刈り、沿道ゴミ拾い、花植栽は今後も継続的に実施する。今後は広域での活動を目指す。花植栽については、道道のアダプトプログラムの活用も検討する。景観づくりの活動を集中的に実施することを検討する			
			T-7	JRと国道の間の帰化植物撤去	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年9月24、25日 11:00～15:00	帰化植物を撤去した区間の景観は良好になり、来年度以降も継続して実施することになった。撤去作業は予想以上に重労働であり、今後は効率よく撤去できる方法を検討する。				
			T-8	景観ルールづくり	景観分科会	通年	景観分科会を中心に景観ルールを作成中。来年度はモデル地区を定めて、モデル地区で集中的に景観形成活動を実施する。				
			T-14	ウインターサーカスとして西神楽地区ヘラントアートを作成し、冬の資源を活用した景観づくりを実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成18年2月24日、35日、3月4日、5日 17:00～20:00	雪のたまたごに映像を投影したランドアートが子供に人気であり、来年度以降も継続を望む声が聞けた。				
			T-6	支障物件(看板)撤去を千代ヶ岡で実施	景観分科会	平成17年5月25日 5:00～6:30	道路の交通量を考え早期の作業になったために、作業者への負担が大きかった。看板設置により収入を得ている地権者への理解が必要となる。				
			T-8	景観ルールづくり	景観分科会	通年	景観分科会を中心に景観ルールを作成中。来年度はモデル地区を定めて、モデル地区で集中的に景観形成活動を実施する。				
			T-8	景観ルールづくり	景観分科会	通年	景観分科会を中心に景観ルールを作成中。来年度はモデル地区を定めて、モデル地区で集中的に景観形成活動を実施する。				
			T-15	9月集中活動期間のテーマを広報するラジオCMを作成	情報発信分科会	平成17年9月集中活動 月間中	ラジオふらのとFMリバーのコミュニティラジオが連携して、旭川と富良野でラジオCMを放送。				
			地域づくり	活力ある地域づくり	ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る						各イベント共に広報の充実を今後検討する。各地で実施されているイベントについては、ツイッターやフェイスブックで連携する可能性を検討する。

ルート名称・大雪・富良野ルート		報告者：ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵			報告年月：2006/3/31			
種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり	活力ある地域づくり	ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る	T-10	農業と景観・観光をテーマとした、新規団体フォーラムの開催	共催（ルート運営代表者会議）	平成18年3月12日 13:00～17:00	今後の農業との連携に向けて、農業と景観・観光についてのフォーラムを開催。新規団体募集も実施。参加者を集めることに苦労した。	各イベント共に広報の充実を今後検討する。各地で実施されているイベントについては、シニミックバイウェイとして連携する可能性を検討する。
			T-16	「ふらびな人」として、人にスポットをあてたシニミックバイウェイ特別ラジオ番組を放送	情報発信分科会 体験観光分科会	ラジオふらの 平成18年2月25日 13:00～17:00 FMリベール 平成18年3月6日～10日	シニミックバイウェイの活動団体から、地域農家など様々な人にスポットを当ててシニミックバイウェイを紹介する特別番組を放送した。わかりやすくシニミックバイウェイを紹介することが出来た。	
			T-17	大雪・富良野ルートのホームページで観光や景観、道路などの情報を発信	情報発信分科会	通年	掲載する情報の集約や掲載判断をする人が明確でなく、情報を集約・掲載の仕組みづくりが必要。	
			T-18	シニミックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルートを紹介する垂れ看板を作成	ルート運営代表者会議	平成17年9月集中活動 月中旬	わかりやすい看板を作成することが出来たが、各地区における設置については、ばらつきがあった。	
			T-19	9月の集中活動月間に開催されるイベント情報を広域で紹介するチラシを作成	ルート運営代表者会議	平成17年9月集中活動 月中旬	広域でイベントを紹介しているために、利用者から喜ばれた。制作には地域活動団体から情報提供してもらったので、活動団体がいない地区をフォローする人が必要だった。	
			T-20	シニミックバイウェイPR巡回展として、各自治体の役場や公共施設でパネル展を実施	ルート運営代表者会議	平成17年7月～9月まで 各地を巡回	自治体職員へのシニミックバイウェイの広報を目的して役場や公共施設で、第1回フォトコンテストの作品を中心としたパネル展を実施し、フォトコンテスト入選作品のきれいな写真は人気だった。	
			T-21	各地域に情報拠点を設置	NPO法人グランドワーク西神楽 上富良野町商業部会商工会 NPO法人循環型社会立寄サポーターセンター 富良野エコミュージアム	西神楽・上富良野・美瑛 平成17年9月集中活動月間 富良野 通年	西神楽では「ジャングリパーク」、上富良野は「中茶屋」、美瑛は「菊地晴夫フォトショップ」富良野は「ふらの広場」と各地域に情報拠点を設置し、地域情報及びシニミックバイウェイ情報の提供を実施し、利用者から好評であった。	
			T-22	活動資金調達のために記念切手シートを販売	ルート運営代表者会議	通年	2000シートを作成し現在は1300シートほどを販売済み。販売に当たっては販売協力先や切手取扱店が少なく道外への販売が難しい。	

ルート名称・大雪・富良野ルート		報告者：ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵			報告年月：2006/3/31			
種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり	活カある地域づくり	地域の情報発信力を強化し、情報媒体の多彩化を図る	T-15	9月集中活動月間のテーマを広報するラジオCMを作成	情報発信分科会	平成17年9月集中活動月間中	ラジオふらのとFMリバーのコミュニティラジオが連携して、旭川と富良野でラジオCMを放送。	各イベント共に広報の充実を今後検討する。各地で実施されているイベントについては、シニアックハイウェイとして連携する可能性を検討する。
			T-16	「ふらびな人」として、人にスポットをあてたシニアックハイウェイ特別ラジオ番組を放送	情報発信分科会 体験観光分科会	ラジオふらの 平成18年2月25日 13:00～17:00 FMリバー 平成18年3月6日～10日	シニアックハイウェイの活動団体から、地域農家など様々な人にスポットを当ててシニアックハイウェイを紹介する特別番組を放送した。わかりやすくシニアックハイウェイを紹介することが出来た。	
			T-17	大雪・富良野ルートのホームページで観光や景観、道路などの情報を発信	情報発信分科会	通年	掲載する情報の集約や掲載判断をする人が明確でなく、情報を集約・掲載の仕組みづくりが必要。	
			T-18	シニアックハイウェイ北海道 大雪・富良野ルートを紹介する垂れ看板を作成	ルート運営代表者会議	平成17年9月集中活動月間中	わかりやすい看板を作成することが出来たが、各地区における設置については、ばらつきがあった。	
			T-19	9月の集中活動月間中に開催されるイベント情報を広域で紹介するチラシを作成	ルート運営代表者会議	平成17年9月集中活動月間中	広域でイベントを紹介しているために、利用者から喜ばれた。制作には地域活動団体から情報提供をもらったので、活動団体がいない地区をフォローする人が必要だった。	
			T-3	第2回シニアックハイウェイ北海道「大雪・富良野ルート」みち・沿道景観フォトコンテストを実施	シニアックハイウェイ北海道 「大雪・富良野ルート」みち・沿道景観フォトコンテスト実行委員会	平成17年8月1日～10月31日作品募集	今年度は全国各地から応募があり、昨年度よりレベルの高い作品が集まった。「残したくない風景」についても募集したが、一年目ということもあり作品は思うように集まらなかった。	
			T-4	ゴミゼロキャンペーンとして、沿道の清掃活動を実施	花分科会 NPO法人 グラウンドワーク西神楽	平成17年5月30日 上富良野 10:00～12:00 西神楽 9:00～11:00	多くの方が参加して広範囲の清掃が実施できた。地域、道路維持業者の清掃活動と連携する為には実施期間の設定を検討する必要がある。	
			T-13	各地区で沿道への花の植栽を実施	深山峠観光開発振興会 上富良野町商工会商業部会 フラワーランドかみふらの 東川町花俱樂部 北のロマンシニアックハイウェイ	平成17年6月中	各地区で花を植栽し、沿道に彩りを添えた。花の植栽地区が延長するにあたってさらなる花の苗の供給が必要となっている。沿道に植樹が無い場所に関しては、プランターを設置しているが、散水などの管理が大変である。	

ルート名称・大雪・富良野ルート		報告者：ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵		報告年月：2006/3/31				
種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり	活カある地域づくり	地域住民参加への活動強化する	T-7	JRと国道の間の帰化植物撤去	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年9月24、25日 11:00～15:00	帰化植物を撤去した区間の景観は良好になり、来年度以降も継続して実施することになり、撤去作業は予想以上に重労働であり、今後は効率よく撤去できる方法を検討する。	各イベント共に広報の充実を今後検討する。各地で実施されているイベントについては、シニミックハイウェイとして連携する可能性を検討する。
			T-14	ウィンターサーカスとして西神楽地区へランドアートを作成し、冬の資源を活用した景観づくりを実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成18年2月24日、35日、3月4日、5日 17:00～20:00	雪のたまごに映像を投影したランドアートが子供に人気であり、来年度以降も継続を望む声が聞けた。	
			T-23	ルートキャンペーンとして、抽選会や上富良野の観光案内、特産品販売を実施	花分科会	平成17年6月4日 11:00～15:00	観光客が少ない時期もあり花分科会に参加した団体は協力して、イベント実施したが当日は向地区で別のイベントも実施されておりイベントの日程の設定が良くなかった。	
			T-24	秋の味覚市として上富良野の農産物や加工品などを販売するイベントを実施	上富良野町商工会商業部会	平成17年10月9日 10:00～16:00	上富良野町住民に人気のある毎年開催されているイベントで、イベント参加者も多くなった。イベント広報の充実を今後検討したい。	
			T-25	とんとん祭りとして、深山峠の特設会場にて春と秋にイベントを開催	深山峠観光開発振興会	平成17年6月4日、5日 11:00～15:00 平成17年9月17日～19日 10:00～15:00	毎年開催されている人気のイベントであり、地元住民から観光客まで多く方が参加した。	
			T-11	各種シンポジウムやフォーラムのバネリスト及び講演者として、運営委員会メンバーが出演	ルート運営代表者会議	通年	札幌や宗谷、和歌山のシンポジウムや、十勝でのシニミック勉強会に運営委員会メンバーが呼ばれば出演及び講師を務めた。	
			T-4	ゴミゼロキャンペーンとして、沿道の清掃活動を実施	花分科会 NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年5月30日 上富良野 10:00～12:00 西神楽 9:00～11:00	多くの方が参加して広範囲の清掃が実施できた。地域、道路維持業者の清掃活動と連携する為には実施期間の設定を検討する必要がある。	
			T-13	各地区で沿道への花の植栽を実施	深山峠観光開発振興会 上富良野町商工会商業部会 栗川町花畑農産部 北のロマンズハイウェイ	平成17年6月中	各地区で花を植栽し、沿道に彩りを添えた。花の植栽地区が延長するにあたってさらなる花の苗の供給が必要となっている。沿道に植栽樹が無い場所に関しては、プランターを設置しているが、散水などの管理が大変である。	
			T-7	JRと国道の間の帰化植物撤去	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年9月24、25日 11:00～15:00	帰化植物を撤去した区間の景観は良好になり、来年度以降も継続して実施することになり、撤去作業は予想以上に重労働であり、今後は効率よく撤去できる方法を検討する。	
			T-14	ウィンターサーカスとして西神楽地区へランドアートを作成し、冬の資源を活用した景観づくりを実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成18年2月24日、35日、3月4日、5日 17:00～20:00	雪のたまごに映像を投影したランドアートが子供に人気であり、来年度以降も継続を望む声が聞けた。	

ルート名称・大雪・富良野ルート		報告者：ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵		報告年月：2006/3/31				
種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり	コリドールとしての連携や参加意識の醸成 各種キャンペーンの立案によって参加意識を高める	シニミックの活動に対する地域連携意識を醸成する	T-23	ルートキャンペーンとして、抽選会や上富良野の観光案内、特産品販売を実施	花分科会	平成17年6月4日 11:00～15:00	観光客が少ない時期もあり花分科会に参加団体が協力して、イベント実施したが当日は同地区で別のイベントも実施されておりイベントの日程の設定が良くなかった。	ふらの・びえい人では旭川との連携を今後検討する。現在の活動団体がいない地域のフオロ一体制や参加団体についても検討する。様々な活動を通して、シニミックハイウェイの普及・啓蒙に努める。
			T-26	ふらの・びえい人キャンペーンとして美瑛から占冠まで広域連携したキャンペーンで実施	大雪・富良野ルート 運営代表者会議	平成18年2月1日～28日	美瑛から占冠までの広域キャンペーンで、今年度は各地のイベントの充実やJRとのタイアップ、無料バスの運行を実施し、好評を得た。	
			T-14	ウィンターサーカスとして西神楽地区ペランドアートを作成し、冬の資源を活用した景観づくりを実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成18年2月24日、35日、3月4日、5日 17:00～20:00	雪のたまごに映像を投影したランドアートが子供に人気であり、来年以降も継続を望む声が聞けた。	
			T-23	ルートキャンペーンとして、抽選会や上富良野の観光案内、特産品販売を実施	花分科会	平成17年6月4日 11:00～15:00	観光客が少ない時期もあり花分科会に参加団体が協力して、イベント実施したが当日は同地区で別のイベントも実施されておりイベントの日程の設定が良くなかった。	
			T-24	秋の味覚市として上富良野の農産物や加工品などを販売するイベントを実施	上富良野町商工会商業部会	平成17年10月9日 10:00～16:00	上富良野町住民に人気のある毎年開催されているイベントで、イベント参加者も多く集まった。イベント広報の充実を今後検討したい。	
			T-9	桜岡ヒルトップの丘で馬のシヨールや焼肉、ウエスタン音楽を楽しむイベント「馬と星空と音楽と」を開催	NPO法人ネイティブクラーク	平成17年9月3日 17:00～19:00	イベント参加者からは、桜岡の環境や馬のシヨールは好評であった。毎年、チケットの販売などに苦勞している。	
			T-26	ふらの・びえい人キャンペーンとして美瑛から占冠まで広域連携したキャンペーンで実施	大雪・富良野ルート 運営代表者会議	平成18年2月1日～28日	美瑛から占冠までの広域キャンペーンで、今年度は各地のイベントの充実やJRとのタイアップ、無料バスの運行を実施し、好評を得た。	
			T-15	9月集中活動月間のテーマを広報するラジオCMを作成	情報発信分科会	平成17年9月集中活動月間中	ラジオふらのとFMリベールのコミュニティラジオが連携して、旭川と富良野でラジオCMを放送。	

ルート名称：大雪・富良野ルート		報告者：ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵			報告年月：2006/3/31				
種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括	
地域づくり	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	各種キャンペーンの立案によって参加意識を高める	T-27	西神楽の情報拠点を活用してのイベント「新米まつり」を実施	NPO法人グランドワーク西神楽 NPO法人ネイティブワーク	平成17年9月18日 10:00～16:00	地元農業団体と連携し、西神楽とれた野菜や新米を販売し、地元住民から観光客まで好評だった。情報拠点を常設で開設し、産直を実施したいが資金的な問題があり検討中。	ふらのびえい人では旭川との連携を今後検討する。現在活動団体がいない地域のフオロー体制や参加団体についても検討する。様々な活動を通して、シーニックハイウェイの普及・啓蒙に努める。	
			T-10	農業と景観・観光をテーマとした、新規団体フォーラムの開催及び会場の提供	共催(ルート運営代表者会議)	平成18年3月12日 13:00～17:00	今後の農業との連携に向けて、農業と景観・観光についてのフォーラムを開催。新規団体募集も実施。参加者を募めることに苦労した。		
			T-16	「ふらびな人」として、人にスポットをあてたシーニックハイウェイ特別ラジオ番組を放送	情報発信分科会 体験観光分科会	ラジオふらの 平成18年2月25日 13:00～17:00 FMリバー 平成18年3月6日～10日	シーニックハイウェイの活動団体から、地域農家など様々な人にスポットを当ててシーニックハイウェイを紹介する特別番組を放送した。わかりやすくシーニックハイウェイを紹介することが出来た。		
			T-2	じゃがいも一坪オーナーの実施	深山峠観光開発振興会	通年受付(冬期以外)	平成17年度は1400人程度がオーナーとして登録したが、今後さらにPRを実施して、オーナーの人数を増やしたい。		農業や商業と連携を深めつつ、地域特産品のブランド化について検討を進める。また、ルート内外へのPR等についても検討していく。
			T-23	ルートキャンペーンとして、抽選会や上富良野の観光案内、特産品販売を実施	花分科会	平成17年6月4日 11:00～15:00	観光客が少ない時期もあり花分科会に参加団体が協力して、イベント実施したが当日は同地区で別のイベントも実施されておりイベントの日程の設定が良くなかった。		
			T-24	秋の味覚市として上富良野の農産物や加工品などを販売するイベントを実施	上富良野町商工会商業部会	平成17年10月9日 10:00～16:00	上富良野町住民に人気のある毎年開催されているイベントで、イベント参加者も多く集まった。イベント広報の充実を今後検討したい。		
			T-25	とんとん祭りとして、深山峠の特設会場にて春と秋にイベントを開催	深山峠観光開発振興会	平成17年6月4日、5日 11:00～15:00 平成17年9月17日～19日 10:00～15:00	毎年開催されている人気のイベントであり、地元住民から観光客まで多く方が参加した。		
	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	安全な地域農産物の魅力や情報を発信する							

ルート名称・大雪・富良野ルート		報告者：ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵		報告年月：2006/3/31				
種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	安全な地域農産物の魅力を発信する	T-28	各地域で実施されている朝市・夕市で農業団体と連携して実施 ・新鮮野菜の「朝市」「夕市」 ・道の駅ひがしかわ「道草館」朝夕市の会	NPO法人グラウンドワーク西神楽 東川町花俱樂部	平成17年9月集中活動 月中旬	どの直売も販売している野菜が安く、地元住民、観光客から好評を得ていた。資金的な問題から朝市や夕市の広報を十分に実施することが出来なかった。	農業や商業と連携を深めつつ、地域特産品のブランド化について検討を進める。また、ルート内外へのPR等についても検討していく。
			T-29	シーニックキッチンinソトカフェとして、大雪・富良野ルートでとれた食材を使ったスパシャルメニューを提供して実施	NPO法人グリーンステージ	平成17年9月集中活動 月中旬	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	
			T-30	秋の味覚を楽しむレストランとして西神楽でとれた食材を使ったスパシャルメニューを提供して実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年9月集中活動 月中旬	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	
			T-2	じゃがいも一坪オーナーの実施	深山峠観光開発振興会	通年受付(冬期以外)	平成17年度は1400人程度がオーナーとして登録したが、今後さらにPRを実施して、オーナーの人数を増やしたい。	
			T-29	シーニックキッチンinソトカフェとして、大雪・富良野ルートでとれた食材を使ったスパシャルメニューを提供して実施	NPO法人グリーンステージ	平成17年9月集中活動 月中旬	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	
			T-30	秋の味覚を楽しむレストランとして西神楽でとれた食材を使ったスパシャルメニューを提供して実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年9月集中活動 月中旬	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	
			T-2	じゃがいも一坪オーナーの実施	深山峠観光開発振興会	通年受付(冬期以外)	平成17年度は1400人程度がオーナーとして登録したが、今後さらにPRを実施して、オーナーの人数を増やしたい。	
			T-7	JRと国道の間の帰化植物撤去	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年9月24、25日 11:00～15:00	帰化植物を撤去した区間の景観は良好になり、来年度以降も継続して実施することになり、撤去作業は予想以上に重労働であり、今後は効率よく撤去できる方法を検討する。	
			T-14	ウィンターサーカスとして西神楽地区へランドアートを作成し、冬の資源を活用した景観づくりを実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成18年2月24日、35日、3月4日、5日 17:00～20:00	雪のたまたごに映像を投影したランドアートが子供に人気であり、来年以降も継続を望む声が聞けた。	

種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	地域の様々な分野の業界と資源を活用し総合力を高める	T-28	ふらの・びえい人キャンペーンとして美瑛から占冠まで広域連携したキャンペーンで実施	大雪・富良野ルート運営代表者会議	平成18年2月1日～28日	美瑛から占冠までの広域キャンペーンで、今年度は各地のイベントの充実やJRとのタイアップ、無料バスの運行を実施し、好評を得た。	農業や商業と連携を深めつつ、地域特産品のブランド化について検討を進める。また、ルート内外へのPR等についても検討していく。
			T-30	秋の味覚を楽しむレストランとして西神楽でとれた食材を使ったスペシャルメニューを提供して実施	NPO法人グランドワーク西神楽	平成17年9月集中活動月中旬	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	
			T-12	旧国道を巡るツアー「シーニックバス、旧国道を行く！」を開催	NPO法人グリーンステージ	平成17年10月8日 9:00～16:00	旧国道のツアーの開催は初めて行われ、今後はさらなる資源の発掘が必要である。	
			T-1	シーニックデッキの設置	深山峠観光開発振興会	冬期以外設置	利用者から好評を得ているが、今年度はいたずらでデッキが壊される事態も発生し、管理体制を検討する必要がある。	
			T-2	じゃがいも一坪オーナーの実施	深山峠観光開発振興会	通年受付(冬期以外)	平成17年度は1400人程度がオーナーとして登録したが、今後さらにPRを実施して、オーナーの人数を増やしたい。	
			T-22	活動資金調達のために記念切手シートを販売	ルート運営代表者会議	通年	2000シートを作成し現在は1300シートほどを販売済み。販売に当たっては販売協力先や切手取扱店が少なく道外への販売が難しい。	
		多面的で魅力のあるルートの開発と紹介を行う	T-3	第2回シーニックバイウエイ北海道「大雪・富良野ルート」みち・沿道景観フォトコンテストを実施	シーニックバイウエイ北海道「大雪・富良野ルート」みち・沿道景観フォトコンテスト実行委員会	平成17年8月1日～10月31日作品募集	今年度は全国各地から応募があり、昨年よりレベルの高い作品が集まった。「残したくない風景」についても募集したが、一年目ということもあり作品は思うように集まらなかった。	
			T-5	植栽計画に関する検討会の開催及び意見書を旭川開発建設部に提出	景観分科会	植栽検討会 平成17年5月26日 18:00～20:00※意見提出平成17年8月下旬	植栽計画についての検討会を実施、活動団体の意見を踏まえて、景観分科会から意見書を提出した。	
			T-6	支障物件(看板)撤去を千代ヶ岡で実施	景観分科会	平成17年5月25日 5:00～6:30	道路の交通量を考え早期の作業になったために、作業者への負担が大きかった。看板設置により収入を得ている地権者への理解が必要となる。	

ルート名称・大雪・富良野ルート		報告者：ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵			報告年月：2006/3/31						
種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括			
地域づくり	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	多面的で魅力のあるルートの開発と紹介を行う	T-7	JRと国道の間の帰化植物撤去	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年9月24、25日 11:00～15:00	帰化植物を撤去した区間の景観は良好になり、来年度以降も継続して実施することになった。撤去作業は予想以上に重労働であった。今後は効率よく撤去できる方法を検討する。	農業や商業と連携を深めつつ、地域特産品のブランド化について検討を進める。また、ルート内外へのPR等についても検討していく。			
			T-14	ウィンターサーカスとして西神楽地区へランドアートを作成し、冬の資源を活用した景観づくりを実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成18年2月24日、35日、3月4日、5日 17:00～20:00	雪のたまごに映像を投影したランドアートが子供に人気であり、来年度以降も継続を望む声が続出した。				
			T-26	ふらの・びえい人キャンペーンとして美瑛から占冠まで広域連携したキャンペーンを実施	大雪・富良野ルート運営代表者会議	平成18年2月1日～28日	美瑛から占冠までの広域キャンペーンで、今年度は各地のイベントの充実やJRとのタイアップ、無料バスの運行を実施し、好評を得た。				
			T-12	旧国道を巡るツアー「シーニックパス、旧国道を行く！」を開催	NPO法人グリーンステージ	平成17年10月8日 9:00～16:00	旧国道のツアーの開催は初めて行われ、今後はさらなる資源の発掘が必要である。				
			T-10	農業と観光をテーマとした、新規団体フォーラムの開催及び会場の提供	共催(ルート運営代表者会議)	平成18年3月12日 13:00～17:00	今後の農業との連携に向けて、農業と観光・観光についてのフォーラムを開催。新規団体募集も実施。参加者を集めることに苦労した。				
			T-16	「ふらびな人」として、人にスポットをあてたシーニックハイウェイ特別ラジオ番組を放送	情報発信分科会 体験観光分科会	フジオからの 平成18年2月25日 13:00～17:00 FMリベール 平成18年3月6日～10日	シーニックハイウェイの活動団体から、地域農家など様々な人にスポットをあててシーニックハイウェイを紹介する特別番組を放送した。わかりやすくシーニックハイウェイを紹介することが出来た。				
				カフシンジガイの保全活動	深山峠観光開発振興会	シンポジウム 平成17年6月10日 生息観測会 平成17年9月10日	富良野高校と連携し、活動を実施。カフシンジガイへの保護活動への参加や、環境問題への理解については、地域住民の理解度はまだ不十分であり、今後も継続的に活動を実施する予定。				
				9月集中活動月間のテーマを広報するラジオCMを作成	情報発信分科会	平成17年9月集中活動月間中	ラジオからのとFMリベールのコミュニティラジオを放送。				
				景観ルールづくり	景観分科会	通年	景観分科会を中心に景観ルールを作成。来年度はモデル地区を定めて、モデル地区で集中的に景観形成活動を実施する。				
				旧国道を巡るツアー「シーニックパス、旧国道を行く！」を開催	NPO法人グリーンステージ	平成17年10月8日 9:00～16:00	旧国道のツアーの開催は初めて行われ、今後はさらなる資源の発掘が必要である。				
				地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	大雪山・十勝岳連峰の原生林や貴重な野生動物遺産の保全・保護と監視を進める 自然の保全・保護に関する情報発信や啓蒙活動を行うとともに学術調査研究に協力する 歴史的建造物等の地域の歴史文化遺産、北海道遺産などの利活用を図る						今後は活動の充実及び旧国道を中心とした、歴史的資源の調査を実施予定。

ルート名称:大雪・富良野ルート		報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵			報告年月:2006/3/31						
種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括			
地域づくり	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進する	T-12	旧国道を巡るツアー「シーニックバス、旧国道を行く！」を開催	NPO法人グリーンステージ	平成17年10月8日 9:00～16:00	旧国道のツアーの開催は初めて行われ、今後はさらなる資源の発掘が必要である。	今後は活動の充実及び旧国道を中心とした、歴史的資源の調査を実施予定。			
	ユニバーサルデザイン の推進	シーニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う 地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う	T-10	農業と景観・観光をテーマとした、新規団体フォーラムの開催及び、場の提供	共催(ルート運営代表者会議)	平成18年3月12日 13:00～17:00	今後の農業との連携に向けて、農業と景観・観光についてのフォーラムを開催。新規団体募集も実施。参加者を集めることに苦労した。	北西の丘展望公園菊地晴夫フォトショップをユニバーサルデザインの施設として、次年度にリニューアルオープンする。今後の展開については検討を進める。			
観光振興	田園型リラクゼーション 健康を充実させる 田園型リラクゼーション 観光の充実	田園型リラクゼーション 健康を充実させる	T-1	シーニックデッキの設置	深山峠観光開発振興会	冬期以外設置	利用者から好評を得ているが、今年度はいたずらでデッキが壊される事態も発生し、管理体制を検討する必要がある。				
			T-9	桜岡ヒルトップの丘で馬のシヨアや焼肉、ウェスタン音楽を楽しむイベント「馬と星空と音楽と」を開催	NPO法人ネイティブクラーク	平成17年9月3日 17:00～19:00	イベント参加者からは、桜岡の環境や馬のシヨアは好評であった。毎年、チケットの販売などに苦労している。				
			T-29	シーニックキッチンソフトカフェとして、大雪・富良野ルートでとれた食材を使ったスペースシャルメニューを提供して実施	NPO法人グリーンステージ	平成17年9月集中活動 月間中	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。				
			T-30	秋の味覚を楽しむレストランとして、西神楽でとれた食材を使ったスペースシャルメニューを提供して実施	NPO法人グランドワーク西神楽	平成17年9月集中活動 月間中	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。				
			T-12	旧国道を巡るツアー「シーニックバス、旧国道を行く！」を開催	NPO法人グリーンステージ	平成17年10月8日 9:00～16:00	旧国道のツアーの開催は初めて行われ、今後はさらなる資源の発掘が必要である。				
			T-4	ゴミゼロキャンペーンとして、沿道の清掃活動を実施	花分科会 NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年5月30日 上富良野 10:00～ 12:00 西神楽 9:00～ 11:00	多くの方が参加して広範囲の清掃が実施できた。地域、道路維持業者の清掃活動と連携する為には実施期間の設定を検討する必要がある。				
			T-5	もてなしのシーニックバイウェイを充実させる	植栽計画に関する検討会の開催及び意見書を旭川開発建設部に提出	植栽検討会 平成17年5月26日 18:00～20:00※意見提出 平成17年8月下旬	植栽計画についての検討会を実施、活動団体の意見を踏まえて、景観分科会から意見書を提出した。				

種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
観光振興	田園型リゾート クゼーション 観光の充 実	もてなしのシーニックパ イウェイを充実させる	T-13	各地区で沿道への花の植栽を実施	深山峠観光開発振興会 上富良野町商工会商業部会 フラワータウン 東川町花俱樂部 北のロマンスタイルウェイ	平成17年6月中	各地区で花を植栽し、沿道に彩りを添えた。花の植栽地区が延長するにあたってさらなる花の苗の供給が必要となっている。沿道に植樹料が無い場所に関しては、プランターを設置しているが、散水などの管理が大変である。	大雪・富良野ルート特有の資源を活かしたリラクゼーション観光の検討を進める。観光客のニーズ調査及び観光メニューに合わせたメニューの開発についても検討する。
			T-7	JRと国道の帰化植物撤去	NPO法人グラウンドワーク西 神楽	平成17年9月24日、25日 11:00～15:00	帰化植物を撤去した区間の景観は良好になり、来年度以降も継続して実施することになった。撤去作業は予想以上に重労働であり、今後は効率よく撤去できる方法を検討する。	
			T-8	景観ルールづくり	景観分科会	通年	景観分科会を中心に景観ルールを作成中。来年度はモデル地区を定めて、モデル地区で集中的に景観形成活動を実施する。	
			T-14	ウィンターサーカスとして西神楽地区へランドアートを作成し、冬の資源を活用した景観づくりを実施	NPO法人グラウンドワーク西 神楽	平成18年2月24日、35日、3月4日、5日 17:00～20:00	雪のたまたごに映像を投影したランドアートが子供に人気であり、来年以降も継続を望む声が聞けた。	
			T-23	ルートキャンペーンとして、抽選会や上富良野の観光案内、特産品販売を実施	花分科会	平成17年6月4日 11:00～15:00	観光客が少ない時期もあり花分科会に参加団体が協力して、イベント実施したが当日は同地区で別のイベントも実施されておりイベントの日程の設定が良くなかった。	
			T-29	シーニックキッチンinソフトカフェとして、大雪・富良野ルートでとれた食材を使ったスペシャルメニューを提供して実施	NPO法人グリーンステージ	平成17年9月集中活動 月中旬	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	
			T-30	秋の味覚を楽しむレストランとして西神楽でとれた食材を使ったスペシャルメニューを提供して実施	NPO法人グラウンドワーク西 神楽	平成17年9月集中活動 月中旬	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	
			T-14	ウィンターサーカスとして西神楽地区へランドアートを作成し、冬の資源を活用した景観づくりを実施	NPO法人グラウンドワーク西 神楽	平成18年2月24日、35日、3月4日、5日 17:00～20:00	雪のたまたごに映像を投影したランドアートが子供に人気であり、来年以降も継続を望む声が聞けた。	
			T-23	ルートキャンペーンとして、抽選会や上富良野の観光案内、特産品販売を実施	花分科会	平成17年6月4日 11:00～15:00	観光客が少ない時期もあり花分科会に参加団体が協力して、イベント実施したが当日は同地区で別のイベントも実施されておりイベントの日程の設定が良くなかった。	
			T-28	地域の来訪者との連携 交流を充実させる	各地区で実施されている朝市・夕市で農業団体と連携して実施 ・新鮮野菜の「朝市」「夕市」 ・道の駅ひがしかわ「道草館」朝夕市の会	NPO法人グラウンドワーク西 神楽 東川町花俱樂部	平成17年9月集中活動 月中旬	

ルート名称・大雪・富良野ルート		報告者：ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵			報告年月：2006/3/31			
種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
観光振興	田園型リラクゼーション観光の充実 地域の来訪者との連携交流を充実させる	農業と連携した観光のしくみづくり 来訪者と農業生産者をつなぐしくみを検討する	T-30	秋の味覚を楽しむレストランとして西神楽でとれた食材を使ったスパシャルメニューを提供して実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年9月集中活動 月中旬	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	大雪・富良野ルート特有の資源を活かしたリラクゼーション観光の検討を進める。観光客のニーズ調査及び観光ニーズに合わせたメニューの開発についても検討する。
			T-12	旧国道を巡るツアー「シーニックパス、旧国道を行く！」を開催	NPO法人グリーンステージ	平成17年10月8日 9:00～16:00	旧国道のツアーの開催は初めて行われ、今後はさらなる資源の発掘が必要である。	
			T-2	じゃがいも一坪オーナーの実施	深山峠観光開発振興会	通年受付（冬期以外）	平成17年度は1400人程度がオーナーとして登録したが、今後さらにPRを実施して、オーナーの人数を増やしたい。	
			T-14	ウィンターサーカスとして西神楽地区ヘランドアートを作成し、冬の資源を活用した景観づくりを実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成18年2月24日、35日、3月4日、5日 17:00～20:00	雪のたまごに映像を投影したランドアートが子供に人気であり、来年以降も継続を望む声が聞けた。	
			T-23	ルートキャンペーンとして、抽選会や上富良野の観光案内、特産品販売を実施	花分科会	平成17年6月4日 11:00～15:00	観光客が少ない時期もあり花分科会に参加団体が協力して、イベント実施したが当日は同地区で別のイベントも実施されておりイベントの日程の設定が良くなかった。	
			T-25	とんとん祭りとして、深山峠の特設会場にて春と秋にイベントを開催	深山峠観光開発振興会	平成17年6月4日、5日 11:00～15:00 平成17年9月17日～19日 10:00～15:00	毎年開催されている人気のイベントであり、地元住民から観光客まで多く方が参加した。	
			T-28	各地域で実施されている朝市・夕市で農業団体と連携して実施 ・新鮮野菜の「朝市」「夕市」 ・道の駅ひがしかわ「道草館」朝夕の会	NPO法人グラウンドワーク西神楽 東川町花俱樂部	平成17年9月集中活動 月中旬	どの直売も販売している野菜が安く、地元住民、観光客から好評を得ていた。資金的な問題から朝市や夕市の広報を十分に実施することが出来なかった。	
			T-29	シーニックキッチンinソフトカフェとして、大雪・富良野ルートでとれた食材を使ったスパシャルメニューを提供して実施	NPO法人グリーンステージ	平成17年9月集中活動 月中旬	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	
			T-30	秋の味覚を楽しむレストランとして西神楽でとれた食材を使ったスパシャルメニューを提供して実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成17年9月集中活動 月中旬	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	
			T-15	9月集中活動月間のテーマを広報するラジオCMを作成	情報発信分科会	平成17年9月集中活動 月中旬	ラジオふらのとFMリベ어의のコミュニティラジオが連携して、旭川と富良野でラジオCMを放送。	

種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
観光振興	農業と連携した観光のしくみづくり	来訪者と農業生産者をつなぐしくみを検討する	T-10	農業と景観・観光をテーマとした、新規団体フォーラムの開催及び会場の提供	共催(ルート運営代表者会議)	平成18年3月12日 13:00～17:00	今後の農業との連携に向けて、農業と景観・観光についてのフォーラムを開催。新規団体募集も実施。参加者を集めることに苦労した。	来年度から新規に農業団体が参加する予定であり、具体的な連携や実施例をさらに積み上げる。
			T-11	各種シンポジウムやフォーラムのバネリスト及び講演者として、運営委員会メンバーが出演	ルート運営代表者会議	通年	札幌や宗谷、和歌山のシンポジウムや、十勝でのシンポジウム勉強会に運営委員会メンバーが呼ばれ出演及び講師を務めた。	
			T-2	じゃがいも一坪オーナーの実施	深山峠観光開発振興会	通年受付(冬期以外)	平成17年度は1400人程度がオーナーとして登録したが、今後さらにPRを実施して、オーナーの人数を増やしたい。	
			T-23	ルートキヤンペーンとして、抽選会や上富良野の観光案内、特産品販売を実施	花分科会	平成17年6月4日 11:00～15:00	観光客が少ない時期もあり花分科会に参加団体が協力して、イベント実施したが当日は同地区で別のイベントも実施されておりイベントの日程の設定が良くなかった。	
			T-28	各地域で実施されている朝市・夕市で農業団体と連携して実施 ・新鮮野菜の「朝市」「夕市」 ・道の駅ひがしかわ「道草館」朝市 の会	NPO法人グランドワーク西神楽 東川町花俱樂部	平成17年9月集中活動 月間中	どの直売も販売している野菜が安く、地元住民、観光客から好評を得ていた。資金的な問題から朝市や夕市の広報を十分に実施することが出来なかった。	
			T-29	シーニックキッチンinソトカフェとして、大雪・富良野ルートでとれた食材を使ったスパシャルメニューを提供して実施	NPO法人グリーンステージ	平成17年9月集中活動 月間中	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	
			T-30	秋の味覚を楽しむレストランとして西神楽でとれた食材を使ったスパシャルメニューを提供して実施	NPO法人グランドワーク西神楽	平成17年9月集中活動 月間中	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	
			T-27	西神楽の情報拠点を利用してのイベント「新米まつり」を実施	NPO法人グランドワーク西神楽 NPO法人ネイティブワーク	平成17年9月18日 10:00～16:00	地元の農業団体と連携し、西神楽でとれた野菜や新米を販売し、地元住民から観光客まで好評だった。情報拠点を常設で開設し、産直を実施したいが資金的な問題があり検討中。	
			T-21	各地域に情報拠点を設置	NPO法人グランドワーク西神楽 上富良野町商業部会商工会 NPO法人循環型社会立案サポートセンター 富良野エコミュージアム	西神楽・上富良野・美幌 平成17年9月集中活動月間中 富良野 通年	西神楽では「シャングリラパーク」、上富良野は「中茶屋」、美幌は「菊地晴夫フォトショップ」富良野は「ふらの広場」と各地域に情報拠点を設置し、地域情報及びインターネット上での提供を実施し、利用者から好評であった。	

種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
観光振興	農業と連携した観光のしくみづくり	地域の農産物の新たな流通ルーストを検討する	T-11	各種シンポジウムやフォーラムのバネリスト及び講演者として、運営委員会メンバーが出演	ルースト運営代表者会議	通年	札幌や宗谷、和歌山のシンポジウムや、十勝でのシンポジウム勉強会に運営委員会メンバーが呼ばれ出演及び講師を務めた。	来年度から新規に農業団体が参加する予定であり、具体的な連携や実施例をさらに積み上げる。
			T-1	シニアデックの設置	深山峠観光開発振興会	冬期以外設置	利用者から好評を得ているが、今年度はいたずらでデッキが壊される事態も発生し、管理体制を検討する必要がある。	
			T-2	じゃがいも一坪オーナーの実施	深山峠観光開発振興会	通年受付(冬期以外)	平成17年度は1400人程度がオーナーとして登録したが、今後さらにはPRを実施して、オーナーの人数を増やしたい。	
			T-22	活動資金調達のために記念切手シートを販売	ルースト運営代表者会議	通年	2000シートを作成し現在は1300シートほどを販売済み。販売に当たっては販売協力先や切手取扱店が少なく道外への販売が難しい。	
			T-6	支障物件(看板)撤去を千代ヶ岡で実施	景観分科会	平成17年5月25日 5:00～6:30	道路の交通量を考え早期の作業になったために、作業者への負担が大きかった。看板設置により収入を得ている地権者への理解が必要となる。	
			T-23	ルーストキャンペーンとして、抽選会や上富良野の観光案内、特産品販売を実施	花分科会	平成17年6月4日 11:00～15:00	観光客が少ない時期もあり花分科会に参加団体が協力して、イベント実施したが当日は同地区で別のイベントも実施されておりイベントの日程の設定が良くなかった。	
			T-24	秋の味覚市として上富良野の農産物や加工品などを販売するイベントを実施	上富良野町商工会商業部会	平成17年10月9日 10:00～16:00	上富良野町住民に人気のある毎年開催されているイベントで、イベント参加者も多く集まった。イベント広報の充実を今後検討したい。	
			T-25	とんとん祭りとして、深山峠の特設会場にて春と秋にイベントを開催	深山峠観光開発振興会	平成17年6月4日、5日 11:00～15:00 平成17年9月17日～19日 10:00～15:00	毎年開催されている人気のイベントであり、地元住民から観光客まで多く方が参加した。	
			T-26	ふらの・びえい人キャンペーンとして美瑛から占冠まで広域連携したキャンペーンを実施	大雪・富良野ルート ルースト運営代表者会議	平成18年2月1日～28日	美瑛から占冠までの広域キャンペーンで、今年度は各地のイベントの充実やJRとのタイアップ、無料バスの運行を実施し、好評を得た。	
			T-28	各地域で実施されている朝市・夕市で農業団体と連携して実施 ・新鮮野菜の「朝市」「夕市」 ・道の駅ひがしかわ「道草館」朝市	NPO法人グラウンドワーク西神楽 東川町花俱樂部	平成17年9月集中活動 月中旬	どの直売も販売している野菜が安く、地元住民、観光客から好評を得ていた。資金的な問題から朝市や夕市の広報を十分に実施することが出来なかった。	

ルート名称・大雪・富良野ルート		報告者：ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵			報告年月：2006/3/31			
種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
観光振興	シニニック・ランドオペレーション機能の充実	ルートのコミュニケーションのための検討を進める	T-29	シニニックキッチンソフトカフェとして、大雪・富良野ルートでとれた食材を使ったスベシャルメニューを提供して実施	NPO法人グリーンステージ	平成17年9月集中活動 月中旬	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	来年度から新規に農薬団体が参加する予定であり、具体的な連携や実施例をさらに積み上げる。
			T-30	秋の味覚を楽しむレストランとして西神楽でとれた食材を使ったスベシャルメニューを提供して実施	NPO法人グランドワーク西神楽	平成17年9月集中活動 月中旬	地域の食材を利用したメニューを提供することで観光客から人気となった。	
			T-12	旧国道を巡るツアー「シニニックパス、旧国道を行く！」を開催	NPO法人グリーンステージ	平成17年10月8日 9:00～16:00	旧国道のツアーの開催は初めて行われ、今後はさらなる資源の発掘が必要である。	
			T-11	各種シンポジウムやフォーラムのパネリスト及び講演者として、運営委員会メンバーが出演	ルート運営代表者会議	通年	札幌や宗谷、和歌山のシンポジウムや、十勝でのシニニック勉強会に運営委員会メンバーが呼ばれ出演及び講師を務めた。	
			T-15	9月集中活動月間のテーマを広報するラジオCMを作成	情報発信分科会	平成17年9月集中活動 月中旬	ラジオふらのとFMリバーのコミュニティラジオが連携して、旭川と富良野でラジオCMを放送。	
			T-16	「ふらびびな人」として、人にスポットをあてたシニニックバイウェイ特別ラジオ番組を放送	情報発信分科会 体験観光分科会	ラジオふらの 平成18年2月25日 13:00～17:00 FMリバー 平成18年3月6日～10日	シニニックバイウェイの活動団体から、地域農家など様々な人にスポットを当ててシニニックバイウェイを紹介する特別番組を放送した。わかりやすくシニニックバイウェイを紹介することが出来た。	
			T-17	大雪・富良野ルートのホームページで観光や景観、道路などの情報を発信	情報発信分科会	通年	掲載する情報の集約や掲載判断をすることが明確でなく、情報を集約・掲載の仕組みづくりが必要。	
			T-18	シニニックバイウェイ北海道・大雪・富良野ルートを紹介する垂れ看板を作成	ルート運営代表者会議	平成17年9月集中活動 月中旬	わかりやすい看板を作成することが出来たが、各地区における設置については、ばらつきがあった。	
			T-19	9月の集中活動月間に開催されるイベント情報を広域で紹介するチラシを作成	ルート運営代表者会議	平成17年9月集中活動 月中旬	広域でイベントを紹介しているために、利用者から喜ばれた。制作には地域活動団体から情報提供してもらったので、活動団体がいない地区をフォローする人が必要だった。	
			T-20	シニニックバイウェイPR巡回展として、各自治体の役場や公共施設でパネル展を実施	ルート運営代表者会議	平成17年7月～9月まで 各地を巡回	自治体職員へのシニニックバイウェイの広報を目的して役場や公共施設で、第1回アोटコンテストの作品を中心としたパネル展を実施し、アोटコンテスト入選作品のきれいな写真は人気だった。	

種類	方針	方策	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
観光振興	シーニック・ランドオパレーション機能の充実	シーニックバイウェイの情報網と発信機能を充実させる	T-21	各地域に情報拠点を設置	NPO法人グランドワーク西神楽 上富良野商業部会商工会 NPO法人循環型社会立案サポートセンター 富良野エココミュニケーション	西神楽・上富良野・美瑛 平成17年9月集中活動月間 富良野通年	西神楽では「シャングリラパーク」、上富良野は「中茶屋」、美瑛は「菊地晴夫フォトショップ」富良野は「ふらの広場」と各地域に情報拠点を設置し、地域情報及びシーニックバイウェイ情報の提供を実施し、利用者から好評であった。	地域住民や各自治体へのシーニックバイウェイ北海道大雪・富良野ルートのPRを充実させ、ルートにおける活動の認知度を深める。情報拠点の充実及び継続的な運営の仕組みづくりを検討する。ホームページやラジオ、ちらし、リーフレットなど様々な情報発信媒体の活用を図る。
			T-17	大雪・富良野ルートのホームページで観光や景観、道路などの情報を発信	情報発信分科会	通年	掲載する情報の集約や掲載判断をする人が明確でなく、情報を集約・掲載の仕組みづくりが必要。	
			T-21	各地域に情報拠点を設置	NPO法人グランドワーク西神楽 上富良野商業部会商工会 NPO法人循環型社会立案サポートセンター 富良野エココミュニケーション	西神楽・上富良野・美瑛 平成17年9月集中活動月間 富良野通年	西神楽では「シャングリラパーク」、上富良野は「中茶屋」、美瑛は「菊地晴夫フォトショップ」富良野は「ふらの広場」と各地域に情報拠点を設置し、地域情報及びシーニックバイウェイ情報の提供を実施し、利用者から好評であった。	

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
・行政の事業に関する報告(大雪・富良野ルート)

ルート名称:大雪・富良野ルート		報告者:ルート運営行政連絡会議 代表 島津定男			報告年月:2006/3/31	
基本方針	平成17年度の活動内容	関連行政機関	活動実施日	成果及び課題	総括	
大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	西神楽のウインタースーカーパスで、沿道からランドアートが良く見えるように雪山を除雪	旭川開発建設部	平成18年2月24日、25日、3月4日、5日	沿道に積まれた雪山を除雪することで、ランドアートが沿道からよく見えるようになり、道路利用者へPRできた。	沿道の除雪は特別な機材が必要となり、活動団体自ら行うには難しいため、地域から好評であった。	
	波状丘陵地の田園景観を保全する	旭川開発建設部、旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村	平成17年9月1日～10月31日 作品募集	報道機関への投げ込み、各行政機関でのチラシ配布等により応募人数173名、応募総数473点の作品が集まり、第1回よりも作品の質が高いものが多く集まった。	第1回より作品の応募数、質とも高くなった。入選作品については、今後の広報等で活用する。次年度以降も引き続き実施予定。	
	花人街道としての景観を整える	旭川開発建設部、上川支庁、旭川土木現業所、上富良野町	平成17年5月30日	ゴミ拾いの参加者は、上富良野地区で約120名、西神楽地区で約25名と多くの方が参加した。	多くの方が参加したので、広範囲の清掃活動が実施できた。今後は、ルートとして広げていくことを検討する。	
景観形成	ボランティアサポートプログラムとして、花の植栽活動を支援	旭川開発建設部、美瑛町、上富良野町、東川町	平成17年6月	東川町の道の駅周辺や美瑛町の国道周辺、深山峠、上富良野町市街と様々な場所での花植栽を実施	様々な場所の花が沿道に彩り、観光客や地元住民からさらなる花植栽の拡大の希望が聞こえるほど好評であった。	
	上富良野から中富良野までの道路景観診断の実施、及び広報	旭川開発建設部、旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村	平成18年1月18日	地域住民、地域活動団体及び沿線行政機関の職員により、上富良野から中富良野の道路景観診断を行った。各行政機関に於いて診断実施に関わる広報を行い、診断参加を呼びかけたところ、地域活動団体等から8名、上富良野町、中富良野町をはじめとする行政機関から9名の参加があった。	参加者によって地域の景観に関して活発な意見交換がされた。診断結果は、旭川開発建設部が策定を進める国道237号景観形成マスタープランに反映させた。	
	JRと国道の間の帰化植物撤去に関する関係機関との協議・調整	旭川運輸支局、旭川開発建設部	平成17年9月24、25日	地域活動団体によりJR敷地、国道敷地の帰化植物の除去作業を実施する実施	JR北海道も協力的であり、今後も活動が継続される予定である。	
活カある地域づくり	道路景観診断及び活動団体がつくる景観ルールを反映した、国道237号「大雪・富良野ルート景観形成マスタープラン」の作成	旭川開発建設部	通年	道路景観診断や景観ルールなど地域活動団体の意見を取り入れた、景観形成マスタープランを作成	策定したマスタープランをもとに景観改善・形成事業を計画する。	

基本方針	平成17年度の活動内容	関連行政機関	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	旭川開発建設部、上川支庁、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町	6月～9月に各自治体を巡回	ルートのPR及びシーニックバイウェイ北海道に関する啓蒙を目的に、各会場で1週間程度のパネル展を実施。第1回のフォトコンテスト入選作品の美しい写真は好評だった。	各地の会場でパネル展を実施することで、様々な方にルートのPR及びシーニックバイウェイ北海道の普及啓蒙が出来た。
	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	旭川開発建設部	平成17年9月集中活動月間中	国道に面した旭川開発建設部の施設であり、道路利用者には好評だった。	地域の農産物を道路利用者へ効果的にPRすることができ、好評であった。
	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として発信活動を推進				
	ユニバーサルデザインの推進				
観光振興	田園型リラクゼーション観光の充実	旭川開発建設部	平成17年9月集中活動月間中	国道に面した施設であり、道路利用者には好評だった。	地域の農産物を道路利用者へ効果的にPRすることができ、好評であった。
	農業と連携した観光のしくみづくり	旭川開発建設部、旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村	平成18年9月12日 13:00～17:00	農業景観が重要である大雪・富良野ルートの今後の活動に必要な農業と連携を考え、フォーラムを開催。地域団体の新規募集も同時に実施。関係行政機関による開催広報等により、48名の参加があった。	本ルートにおける景観形成や観光振興等の活動を行う上で、農業団体や関係機関との連携を推進する。
		旭川開発建設部	通年	上川地域の情報誌「メディアア旭川」に、シーニックバイウェイ通信として、シーニックバイウェイ北海道「大雪・富良野ルート」の特集記事を展開し、ルート及びシーニックバイウェイ北海道に関する広報・PRを実施した。	シーニックバイウェイ北海道「大雪・富良野ルート」について、理解してもらうことが出来た。今後も、電波・電子・紙等の各種広報媒体の活用を検討し、効果的な広報・PRに努める。
		旭川開発建設部、旭川土木現業所	平成17年6月4日～	国道237号及び道道の道路情報板を活用し、道路利用者に対し「シーニックバイウェイ 大雪・富良野ルート」をPRすることが出来た。	道路情報板でのルートPRは地域活動団体にも好評であり、通行する全ての道路利用者にもPRすることが出来たため、ルート名称の認知度が向上した。

基本方針	平成17年度の活動内容	関連行政機関	活動実施日	成果及び課題	総括
<p>シニック・ランドオペレーション機能の充実</p>	<p>集中活動月間キャンペーン「シニックバイウェイ 大雪・富良野ルート」のPR</p> <p>ルート運営代表者会議や分科会等に出席し、様々な情報を活動団体に提供</p> <p>シニックバイウェイの活動に関し、報道機関への投げ込みを実施</p> <p>支援センターで発行したタブロイド紙(年3回)を地域に配布</p>	<p>旭川開発建設部、上富良野町</p> <p>旭川開発建設部</p> <p>旭川開発建設部</p> <p>旭川開発建設部、旭川運輸支局、上川支庁、旭川市、現業所、旭川市、真神、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村</p>	<p>平成17年6月19日 10:00～14:00</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>6月、9月、2月の3回</p>	<p>国道237号線沿いの民間観光施設駐車場でのPR活動、アンケート調査を実施し、シニックバイウェイ制度に対する住民や観光客の理解を得ることができた。</p> <p>各会議で地域活動団体に、行政機関から情報提供を行った。</p> <p>地域の活動に関し、報道機関への情報提供を通じ、新聞記事掲載を促した。「ゴミゼロ(清掃活動)キャンペーン」や情報拠点でのイベント開催等が新聞に掲載された。また、掲載された記事をメールマガジリストで関係者へ情報提供した。</p> <p>支援センターで発行しているタブロイド紙を各市町村及び道の駅、レンタカー営業所、各活動団体に配布。</p>	<p>シニックバイウェイ制度の認知度の向上が図られたほか、地域住民・活動団体の裾野が広がった。</p> <p>地域への情報提供は、分科会等への出席のほか、メールマガジストでも実施し、活動団体からは好評であった。</p> <p>新聞記事に取り上げられることにより、「大雪・富良野ルート」の活動を広報することができ、活動団体のモチベーション向上にも繋がった。</p> <p>配布箇所の拡大を図り、さらに効果的な広報に努める。</p>

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵	報告年月:2006/3/31
-----------------	------------------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	具体の取り組み				情報分科会 7/20									
	情報発信分科会													
	体験観光分科会 ユニバーサルデザイン分科会													

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営行政連絡会議 代表 島津定男	報告年月:2006/3/20
-----------------	-------------------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	具体の取り組み			行政連絡会議 6/2					行政連絡会議 1/13					
	集中活動月間			6月集中活動月 ↕			9月集中活動月 ↕					2月集中活動月 ↕		

4. 審査委員会意見に関する報告
・大雪・富良野ルート

ルート名称: 大雪・富良野ルート	報告者: ルート運営代表者会議 代表 稲村健蔵、ルート運営行政連絡会議 代表 島津 報告年月: 2006/3/31		大雪・富良野ルート行政連絡会議の報告	備考
<p>シニミック ハイウェイ ルート全体 に対する意 見</p>	<p>審査委員会からの意見 景観への取り組み: 景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニケーションの創出 持続性の確保: 参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用 地域特性の活用: 北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものご追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保 ホスピタリティ向上: 研修プログラム 全国、世界への多様な人材育成の実施、地域での情報発信、旅行会社等民間企業との連携 開かれた運営体制: 継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携、協働 地域活性化の取り組み: 日直し、歴史・文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツアーリズムの展開に向けた取り組みの実</p>	<p>大雪・富良野ルート運営代表者会議の報告 有限責任中間法人 シニミックハイウェイ 大雪・富良野ルートの設立 認定第一号記念切手シートの販売 平成17年3月12日にフォーラムを共催で開催し、ライヴ環境計画の有山先生から農業、景観、観光に関する講演を頂いた 平成18年2月1日～28日の1ヶ月間開催された、「ふらの・びえい人になるキャンペーン」で実施 必要であるという認識はあり、今後の取り組みについて検討しているが、今年度の具体的な実施は無し 今年度初めに新しいドメインを取得。ホームページをリニューアルし、大雪・富良野ルートの情報発信を実施。 各地の情報拠点で実施。特に西神楽の情報拠点シヤングリラパークでは、地元農業団体と連携し、情報拠点の運営やイベント開催、産直などを実施。 平成18年2月1日～28日の1ヶ月間開催された、「ふらの・びえい人になるキャンペーン」で実施</p>	<p>大雪・富良野ルート行政連絡会議の報告 第1回フォトコンテスト入選作品等を、関連行政機関が提供する場所でPR巡回展を実施し、地域住民の経過に土気の向上を促した。 平成17年3月12日にフォーラムを旭川開発建設部が主催で開催し、ライヴ環境計画の有山先生から農業、景観、観光に関する講演を頂いた 近隣地域(上川町)においてシニミックハイウェイに関する勉強会を開催 道の駅、レンタカー会社で広報資料を配布 メーリングリストでの様々な情報提供や、平成18年3月12日のフォーラムで新規団体を募集</p>	
<p>大雪・富良野ルート</p>	<p>TVやCMでの知名度と自然、農業等の地域固有の資源との調和が必要である。 地域住民、コミュニティ、多種多様な主体の参加・協働を一層進めるとともに、広域的な連携を行い、特に市街地部、屋外広告物等の景観の改善や自然との調和、郊外部と市街地との連携、視点場の設定と演出等に取り組んでいく必要がある。</p>	<p>平成18年3月12日に開催したフォーラムにて農業と景観等の講演を頂き、今後の農業、景観、観光についての検討を実施 昨年度も深山峠ジェットコースターの路に設置したシニミックデッキを今年度も設置 地域活動団体が大雪・富良野ルートにおける景観ルールを策定中 旧国道を巡るツアー「シニミックバス、旧国道を行く」を開催</p>	<p>道路景観形成マスタープランやサインシステムの策定 景観行政団体として東川町及び旭川市が景観計画を策定中</p>	

大雪・富良野ルート

https://www.furano.or.jp/

F-1

『シーニックテック』

【内容】 深山峠里仁地区の「ジェットコースターの隣」にシーニックテックを設置。晴れた日には、十勝岳連峰と富良野盆地が一望でき、観光客及び地元住民から好評を得た。

【管理】 深山峠観光振興協会

【設置日】 6月～11月初め

【利用者】 5,800人程度（7/15～9/30の77日間調べ）



大雪・富良野ルート

https://www.furano.or.jp/

F-2

『じゃがいも一坪オーナー』

【内容】 みやと連携してクリーン農法で栽培した安心・安全な「男爵いも」の一坪オーナーを季節収穫は10kg保証し収穫されたじゃいもは、オーナーへ宅配。

【主催】 深山峠観光振興協会

【開催日】 通年受付

【利用者】 1,400名



大雪・富良野ルート

https://www.furano.or.jp/

F-3

第2回 シーニックハイウェイ北海道「大雪・富良野ルート」みち・治道展覧フォトコンテスト

グランプリ

『テーマ① みちのある風景・治道の風景・祭事・スナップなど』



作品名「サンピラーの丘」 北海道富良野市在住 赤坂義一

大雪・富良野ルート

https://www.furano.or.jp/

F-4

第2回 シーニックハイウェイ北海道「大雪・富良野ルート」みち・治道展覧フォトコンテスト

特選

『テーマ①

みちのある風景・治道の風景・祭事・スナップなど』



作品名「金色の光の道」
兵庫県在住 古田恵子



作品名「虹立つヒマワリ畑」
旭川市在住 那須聡

大雪・富良野ルート

1402318-1402319-1402320

F-28

『春のどんどんまつり』

【内 容】 深山峠で開催された、春のどんどんまつり会場入り口に、アンケート会場を設
置。約190人のアンケート参加者には福袋をプレゼントした。

【主 催】 東川花倶楽部

【実施日】 6月4日(土)

【参加者】 アンケート数 190名程度



大雪・富良野ルート

1402318-1402319-1402320

F-28

『どんどん祭り』

【内 容】 地元の名産品やアート工芸、朝も野球の販売を兼ね、会場には上富良野の特
産物、豚サワリが楽しめる焼肉コーナーや、アマチュアバンドのコンサートも
行われ、地元住民から観光客までが楽しめる継続イベント。

【主 催】 深山峠観光開発委員会

【実施日】 9月17日(土)～19日 10:00～15:00

【会 場】 上富良野町深山峠 情報会場

【参加者】 約6000～7000人(概算)



大雪・富良野ルート

1402318-1402319-1402320

F-28

『5.らの・ひえい人になるキャンペーン』

【内 容】 冬の富良野・真珠の魅力を感じてもらおうと企画された地元特産型の「5
らの・ひえい人になるキャンペーン」。今年度は「各地のイベントの充
実」「JTB北海道と全面タイアップによりJR北海道フリーチケットと無料イベン
トパスの運行」「南富良野町の参画によるエリアの拡充」を行いパーセン
トアップした。また、今年からホームページを使って投票を行うハセタル
マコンテストも行った。

【主 催】 新しい冬の真珠・富良野観光を考える実行委員会

【協 賛】 シーニックハイウェイ北海道 大雪・富良野ルート

【実施日】 2月1日(水)～2月28日(火)

【参加者】 集計中



上富良野町「ばんばん馬モリ」体験



上富良野町 無料バス



富良野町「ハセタルマコンテスト

大雪・富良野ルート

1402318-1402319-1402320

F-12

『シーニックバス、旧国道を行く！』

【内 容】 「シーニックバス、旧国道を行く！」と題して、大雪・富良野ルートの旧国道
を走る「旧国道の海産物を楽しむバスツアー」の実施
「かみさらの開拓記念館」などの立ち寄り、歴史的な資源等を楽しんだ。

【主 催】 NPO法人グリーンステーション

【実施日】 10月8日(土) 9:00～16:00

【参加者】 10名程度



F-16

『大雪・富良野ルート ラジオCM』

大雪・富良野ルート ラジオCM

【内容】 30秒CMをラジオからの（富良野）とFM0ペー（旭川）で放送。地元コミュニティFMが連携することで、大雪・富良野ルートのほとんどでCMを聞くことが可能。CM内容は集中活動月間に合わせた「食」と「エコツーリング」の2パターンの放送した。

【主催】 情報発信分科会

【期間】 9月5日（月）～10月10日（月）

【放送数】 計100回（2局合計）

パターンの1「旬を楽しむ」

夏の間、美しい花で彩られた大地は、ますます収穫の喜びにあふれます。豊かな恵みの秋は、ツーリングハイウェイには、自然環境を思いやる旅。例えば、ツーリングハイウェイには、思わず車を止めて、みどれてしまうほど、美しい場所がたくさんあります。

そんな時はアイドリンドグストップ。エンジンをはじめ、静かな風景の中にとどまれば、鳥たちのさえずり、空を渡る鳥の音・・・

北海道が好きなだから、美しい自然が大好きだから・・・

ツーリングハイウェイ 大雪・富良野ルートで、おいしく食べて、エコな旅。

パターンの2「エコツーリング」

この旅、ツーリングハイウェイの利用率は、エコツーリング。それは、自然環境を思いやる旅。例えば、ツーリングハイウェイには、思わず車を止めて、みどれてしまうほど、美しい場所がたくさんあります。

そんな時はアイドリンドグストップ。エンジンをはじめ、静かな風景の中にとどまれば、鳥たちのさえずり、空を渡る鳥の音・・・

北海道が好きなだから、美しい自然が大好きだから・・・

ツーリングハイウェイ 大雪・富良野ルートで、おいしく食べて、エコな旅。

F-16

『シーニックハイウェイ北海道
大雪・富良野ルート「ふらびなたち」
ラジオCM』

大雪・富良野ルート「ふらびなたち」

【内容】 みちから始まる北海道の冬の楽しみ方、みちから眺める自然や農村景観の魅力、みちにつながる地域の暮らし、そして、道に開くこれからの課題など多岐にわたる、多彩なゲストをひかえ、楽しいおしゃべりと素敵な音楽をお送りするラジオ番組。

シーン1 シーニックを知る～シーニックってなに？～

シーン2 地域の資源を知る
～冬の旅に出かけよう。富良野、札幌、新しい冬の魅力発見！～

シーン3 地域の魅力を伝える～ハーフストロード（美しい景観・地域の活力）～

シーン4 あなたが、私ができること～みつけよう、マイウェイ！～

シーン5 さあ、シーニックをはじめよう！～あなただけの道はある～

シーン6 情報発信分科会・体験観光分科会

【主催】 情報発信分科会・体験観光分科会

【実施日】 ラジオ5回 2月25日（土）13:00～17:00
FM0ペー 3月6日（月）～10日（金） 18:00～19:00



F-17

『キャンペーン情報 ホームページ』

大雪・富良野ルート

【内容】 今年、新しいドメインでリニューアルした、大雪・富良野ルートのホームページで集中活動月間のイベント情報を掲載。

【主催】 情報発信分科会

【アドレス】 <http://www.taisetsu-furano.jp/>



F-16

『大雪・富良野ルート 共通看板』

大雪・富良野ルート

【内容】 シーニックハイウェイ北海道の制度をわかりやすく説明する看板と大雪・富良野ルートの看板をセットで作成。雨に強い特殊な印刷をした重ね紙タイプの看板で丸めて持ち運びできるもの。イベント会場や情報拠点などに設置した。

【主催】 大雪・富良野ルート

【制作数】 13セット

【配布先】 情報拠点、各イベント会場、タブライド観光飲食店など



大雪・富良野ルート

旭川市・富良野市・上川町

F-19

『大雪・富良野ルート 共通イベントチラシ』

【内 容】 大雪・富良野ルートで9月の集中活動月間に開催されるイベントなどを紹介するチラシを制作。地域イベントの情報が集まる地域の活動団体が実施。

【主 催】 大雪・富良野ルート

【制作数】 10,000部

【配付先】 各活動団体、道の駅、情報拠点など



表紙

裏表紙

大雪・富良野ルート

旭川市・富良野市・上川町

F-20

『制度説明ちらし』

制度の分かりやすい説明と大雪・富良野ルートの紹介をするチラシを作成し、シーニックハイウェイ制度PR巡回展会場に設置。



表

裏

大雪・富良野ルート

旭川市・富良野市・上川町

F-20

『シーニックハイウェイ制度PR巡回展』

【目 的】 会場を各市町村の役場に設定することにより、役場職員及び住民へのシーニックハイウェイのPRを行う。

【内 容】 昨年夏フォトコンテスト入賞作品のパネル展とシーニックハイウェイ制度のちらしやパンフレットを展示し、シーニックハイウェイ制度を紹介。

【主 催】 大雪・富良野ルート運営事務局

【会 場】 各市町村の役場及び公共施設

旭川市（北海道上川支庁、旭川市中

央区建設、旭川エスタ、旭

川開発建設部）

東川町（東川町役場）

東神楽町（東神楽町役場）

美瑛町（ホテル・ラフネール）

上富良野町（福祉センターかみん、

社会教育総合センター）

中富良野町（中富良野町役場）

富良野市（Sらの広場）

南富良野・占冠（今後開催予定）



北海道上川支庁会場

大雪・富良野ルート

旭川市・富良野市・上川町

F-20

7月11日(月)～15日(木)

旭川市 北海道上川支庁 1階ロビー



7月20日(月)～24日(日)

旭川市 旭川市中央図書館 2階展示スペース



大雪・富良野ルート

7月25日(月)～29日(金)

東川町 東川町役場 1階ロビー



7月30日(月)～8月8日(月)

旭川市 旭川エスタ 4階イベントスペース エスタパーク



大雪・富良野ルート

8月9日(木)～12日(木)

東神楽町 東神楽町役場 1階ロビー



8月13日(土)～19日(火)

美瑛町 ホタル・ラブニール 1階ロビー



大雪・富良野ルート

8月22日(月)～25日(木)

上富良野町 社会教育総合センター 1階ロビー



8月26日(木)～31日(金)

上富良野町 保険福祉総合センター「かみん」 1階ロビー



大雪・富良野ルート

9月1日(木)～7日(水)

中富良野町 中富良野町役場 1階ロビー



9月8日(木)～14日(水)

富良野市 レストラン ふらの広場



大雪・富良野ルート

9月27日(水)～30日(金)

旭川市 旭川開発建設部 1階ロビー



F-20

大雪・富良野ルート

9月27日(水)～30日(金)

旭川市 旭川花見楽部 花植え

【内 容】 東川町の道の駅「道草館」周辺の花植えを地元住民主体で実施。花壇や樹、沿道花壇を約2万株の花で飾り付けた。
6月2日(水)は樹及び花壇の花植え、6月4日(土)は沿道の花植えを行った。

【主 催】 東川花見楽部
【実施日】 6月2日(水) 13:30～16:00 6月4日(土) 15:00～17:00
【参加者】 6月2日(水) 60名程度 6月4日(土) 30名程度



大雪・富良野ルート

9月27日(水)～30日(金)

深山峠 花植え

【内 容】 ボランティアサポートプログラムをきっかけ、深山峠トリックアート美術館前の国道沿い花壇の花植えを実施。地元住民が主体となり、約2時間ほどの作業で、花壇を飾り付けた。

【主 催】 花分科会
【実施日】 6月7日(水) 8:00～10:00
【参加者】 30名程度



大雪・富良野ルート

9月27日(水)～30日(金)

美瑛 花植え

【内 容】 ボランティアサポートプログラムをきっかけ、美瑛の国道沿いの花壇の花植えを実施。早朝の寒風にも関わらず、多くの人が参加した。

【主 催】 美瑛商工会 など
【実施日】 6月25日(土) 7:00～9:00



大雪・富良野ルート

大雪山国立公園 富良野地域

F-14

『ウィンターサーカス in 西神楽』

【内 容】 西神楽の情報拠点前の畑にランドアートを制作。夜にプロジェクターにて畑の映像や地球の風車などを投影し楽しんだ。
情報拠点では、豚汁や甘酒のサービスや聖前小学校の授業で制作した紙粘土の作品やプロッターージュを展示した。

【主 催】 NPO法人グランドワーク西神楽

【実施日】 2月25日（土）、2月26日（日） 17:00～20:00

3月4日（土）、3月5日（日） 17:00～20:00

【参加者】 毎回50名程度

